

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10

国立公文書館	
分類	返 赤
配架番号	3 A
	14
	66-17

四
四

住友共同電力

新居浜為三

国立公文書館	
分類	
配架番号	66-17

めくれず

66-17



昭和十八年電第 1263 號

接受昭和十八年十二月三十日
起案昭和十九年一月四日
接受ヨリ
起案マデ
ノ日數

六日
決判
施行
三月八日

洋紙同裁用紙

火力課長
企畫課長

電力局長

住友共同電力株式會社申請新居浜第三火力發電所
第五大號汽缶構造設計ニ関スル件

指令案 (松山軍需監理部経由)

軍需省指令八電第一二六三號

愛媛縣新居浜市金子乙三八四番地
住友共同電力株式會社



日本標準規格 B5 (182x257mm)

常務取締役 藤井敬三郎

昭和十八年十二月十四日附查第九一七號申請汽車構造設計
件認可ス

昭和十九年一月六日

大臣名

(施行注意)

本案ニ添付アリ

一送分先「広島軍需監理部氣合」ト云ヒト

電氣廳

案一二 (添付物アリ)

大電第一三三三號

昭和十九年一月六日

局長

松山軍需監理部長宛

住友共同電力株式會社申請新居浜第三火力発電所
升五火輝汽缶構造設計認可申請ニ関スル件
標記ノ件ニ別紙ノ通指令相成候修指令書交付相成度

(施行注意)

一案ノ一ヲ添付ノコト

説明

才天彈汽系仕様概要

種類 型式 水管式 川崎3モント強制循環型

汽圧 二四兆毎平方センチメートル

汽温 三五〇度攝氏

蒸発量 最大 一〇.五 蒸毎時
降降 八〇 蒸毎時

加熱面積 十三年 年方米 (本館) 一二九^二
十六 年方米 (本館)

過熱面積 五四 平方米 本館 別館壁部 四^二 平方米

給水温度 一二〇度攝氏

塔接ヶ所 角型管寄及汽管接ヶ所

塔接施行工場名 川崎重工業株式会社

電気廳

本汽系八昭和十五年十二月ニ製作セラレ日本重化学工業

株式会社ニ納入セラレモ一ヲ任友共同電力ヲ買合ケ本

発電所ニ設置スルモノナリ

尚本年一月四日附工事施行迄ナリ

正本

18.12.30
9-12

1263

查第九一七號

昭和十八年十二月十四日

愛媛縣新居濱市金子乙一八四〇番地

住友共同電力株式會社

常務取締役 藤井 敬三郎

主任技術者 藤井 敬三郎

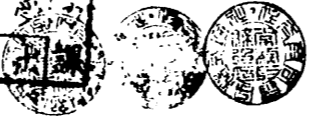
汽機汽罐主任者 坂田 壬子

軍需大臣 東條 英機 殿

新居濱第三火力及電所第五六號汽罐構造設計認可申請

本月七日附查第八九七號ヲ以テ汽罐二箇増設ノ儀工學設計明細書中事項變更認可申請中ノ新居濱第三火力發電所第五六號汽罐ノ構造設計別紙ノ通り致度候間御認可被成下度發電用汽機汽罐取締規則第二條ニ依リ關係書類函面相添へ此段申請候也

18.12.31



めくれず

三 汽 罐 及 其 ノ 附 屬 設 備

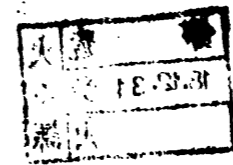
(I) 構 造 明 細 書

(1) 汽 罐

仕 様 ノ 概 要

種 類	水 管 式 (川 崎 ラ モ ン ト 強 整 循 環 型)
型 式	横 置 型
汽 壓	二 四 疋 毎 平 方 糎 ゲ ー ジ (胴 内 及 過 熱 器 出 口 共)
汽 温	攝 氏 三 五 〇 度 (過 熱 器 出 口) 再 熱 セ ズ
蒸 發 量	最 大 一 〇 ・ 五 瓩 毎 時
加 熱 面 積	經 濟 八 ・ 〇 瓩
過 熱 面 積	一 二 九 平 方 米 (別 三 側 壁 部 四 七 平 方 米) 内 有 效 投 射 一 五 平 方 米
給 水 温 度	五 四 平 方 米
汽 罐 箇 數	攝 氏 一 二 〇 度 (節 炭 機 出 口) 二 箇

めくれず



昭和十一年三月三十一日

鍋、水管、過熱管、管寄其他耐壓部分ノ構造寸法及材料

一、鍋

二、水管

三、過熱管

四、管寄

五、其他耐壓部分

六、材料

七、構造寸法

八、製造方法

九、検査方法

十、注意事項

名	稱	内	徑	長	サ	厚	サ	材	料	構	造
鏡	板										
罐	胴	二二〇	〇	四二〇	〇	二	四	耗	日本標準規格罐用壓延鋼材第二種(舊)		別紙第九號圖ノ通り
天蓋蒸發管		二五・六	耗	①三三〇 ②三三〇	耗		三・二	耗	日本標準規格罐用縱目無鋼管		別紙第十號圖ノ通り
側壁蒸發管		二五・六	耗	一七五 二二〇	耗						別紙第十一號圖ノ通り
過熱管		三五・六	耗	一五〇 三九〇	耗						別紙第十三號圖ノ通り
天蓋蒸發管寄		一四〇	耗	三六〇	耗	二	耗	日本標準規格鐵鋼第一種			別紙第十二號圖ノ通り
側壁蒸發管寄				三〇〇	耗						別紙第十四號圖ノ通り

めくれず

住友共同電力株式会社

蒸汽貯藏器及再熱器

今回設備セズ

安全弁ノ種類・寸法・材料・筒數及取付位置

種類 高揚程複式發條式

寸法 口徑 七〇耗

材料 鑄 銅

筒數 二箇(ドラム一箇ニ付)

取付位置 二箇共ドラム上ニ取付

(四) 節 炭 器

仕様ノ概要

種類 水管式

型式 横置銅管型

加熱面積 一八二平方米

水 壓 二六・五疋毎平方糎ゲージ

めくれず

日本標準規格
用織目無鋼管

水 温 入口攝氏五〇度
出口〃 一二〇度
胴、管、管寄等ノ構造、寸法及材料

名 稱	内 徑	長	サ 厚	材 料	構 造
節炭器管	二五・六耗	二三八〇三耗	三・二耗	日本標準規格 用織目無鋼管	別紙第十五號圖 ノ通り
全 管寄	一四〇耗角	三、七〇〇耗	二二二耗	〃 鍍鋼第一種	〃 第十六號圖 ノ通り

安全ノ種類、寸法、材料及箇數
種 類 發 條 式
寸 法 口 徑 六五耗
材 料 鑄 鋼
箇 數 一箇(節炭器一箇ニ付)

めくれず

汽管	名稱		内徑	厚サ	材	料	汽	壓	汽	溫
	一六八耗	六・〇耗								
"	"		五・一	四・五	全	右	全	右	全	右
"	"		一一九	五・五	全	右	全	右	全	右

フランジ接手ノ構造 別紙第四號圖ノ通り

材料 鍛鋼

寸法 全右

汽管 一六八耗 六・〇耗

内徑 五・一 四・五

厚サ 一一九 五・五

材 料 日本標準規格一般用繼目無銅管

汽 壓 二四呎每平方呎ゲージ

汽 溫 攝氏三五〇度

(一) 給水加熱器、蒸化器其ノ他熱交換器
給水加熱器ハ既設ノモノヲ使用ス
蒸化器ハ別途申請ノ豫定

(二) 汽管及給水管
主ナル汽管及給水管ノ寸法、材料、汽壓、汽溫、水壓及水
溫並ニ主ナルフランジ接手ノ構造、寸法及材料

住友共同電力株式會社

めくれず

本機は、自動給水調節装置ノ種類
 コーパス型自動給水加減器
 別紙第五號圖ノ通り
 全右
 材料 鋼

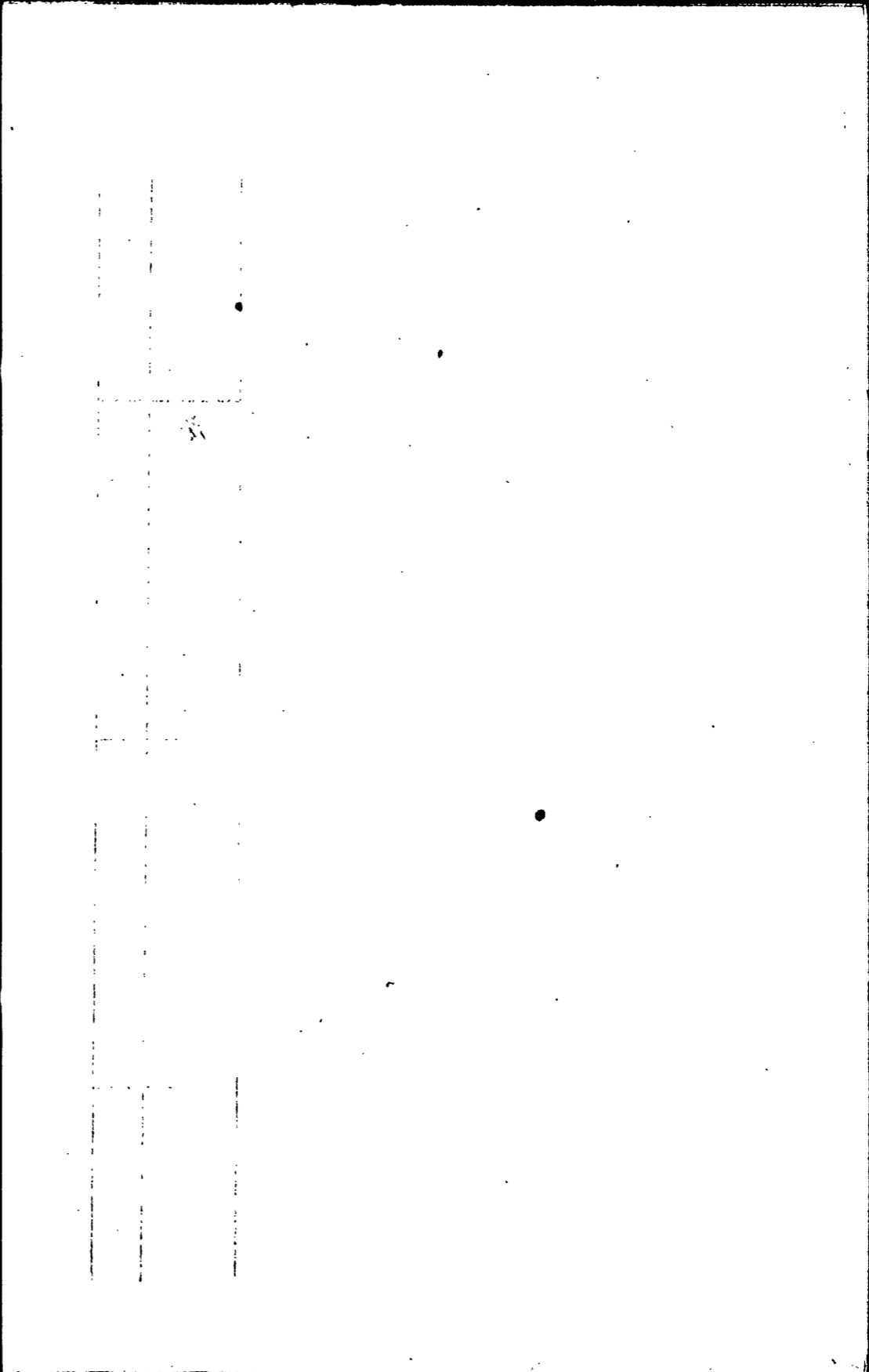
名稱	外徑	厚サ	材 料	水 壓	水 温
給水管	3吋	ホ	日本標準規格一般用 編目無縫管	二六・五冠每平方糎ゲージ	攝氏五〇度

フランジ接手ノ構造
 寸法 全右
 材料 鋼
 蒸汽溜、減壓弁及過熱低減器
 今回設備セス
 自動給水調節装置ノ種類
 コーパス型自動給水加減器

一、本機は、自動給水調節装置ノ種類 コーパス型自動給水加減器 別紙第五號圖ノ通り 全右 材料 鋼	二、本機は、自動給水調節装置ノ種類 コーパス型自動給水加減器 別紙第五號圖ノ通り 全右 材料 鋼	三、本機は、自動給水調節装置ノ種類 コーパス型自動給水加減器 別紙第五號圖ノ通り 全右 材料 鋼	四、本機は、自動給水調節装置ノ種類 コーパス型自動給水加減器 別紙第五號圖ノ通り 全右 材料 鋼
--	--	--	--

本機は、自動給水調節装置ノ種類
 コーパス型自動給水加減器
 別紙第五號圖ノ通り
 全右
 材料 鋼

めくれず



(2) 配置圖

- 一 發電所一般平面圖 第一號圖
- 一 汽罐配置圖(二枚) 第二三號圖
- 一 汽管配置圖 第四號圖
- 一 給水管配置圖 第五號圖
- 一 循環水管配置圖 第六號圖
- 一 諸管裝置圖 第七號圖
- (3) 構造圖
- 一 安全瓣之圖 第八號圖
- 一 罐胴之圖 第九號圖
- 一 天蓋蒸發管之圖 第一〇號圖
- 一 側壁管之圖 第一一號圖
- 一 蒸發管々寄之圖 第一二號圖
- 一 過熱管之圖 第一三號圖

めくれず

住友共同電力株式會社

一、過熱管々寄之圖

第一四號圖

一、節炭器管之圖

第一五號圖

一、節炭器管々寄之圖

第一六號圖

一、給炭機之圖

第一七號圖

一、押込通風機之圖

第一八號圖

一、誘引通風機之圖

第一九號圖

一、給水ポンプ之圖

第二〇號圖

一、給水ポンプ用蒸汽タービン之圖

第二一號圖

一、空氣豫熱器之圖

第二二號圖

一、サイクロン集塵器之圖

第二三號圖

一、煙突構造圖

第二四號圖

一、循環水ポンプ構造圖

第二五號圖

(4) 熔接施行工場名

川崎重工業株式會社

〃 箇所

第四號圖ニ示ス通り汽管接手部分ニ電氣熔接ス

めくれず

(5) 資料

(イ) 汽罐製造者名

川崎重工業株式会社

(ロ) 汽罐製造年月

昭和十五年十二月

(ハ) 汽罐製造後ノ經歷

製造後日本重化学工業株式会社へ納入セラレタルモノ拵付ニ至ラス未拵付ノ儘保管シアリシモノヲ買受ケ本年十一月卅日納入ヲ完了セリ

(ニ) 胴、水管、過熱管、管寄其ノ他ハ罐及其ノ附属設備ノ耐圧部分ノ強度計算書別紙第一表ノ通り

(ホ) 日本標準規格ニ定メタル材料以外ノ材料試験成績書

耐圧部分ニハ日本標準規格ニ定メタル材料以外ノ材料ヲ使用セラルモノナシ

めくれず

